

3年学年だより

令和7年1月21日(火)
No.29
吹田市立千里丘中学校
第3学年

泣いても笑っても、あと…

2月10日は、大阪府内私立高校の入試本番です。出願が完了し、受験票を受け取った人もいますよね。いよいよです。目前には、千里丘中学校で受ける最後のテスト=学年末テストも迫っています。そんな今の時期、みんなを見ていて思い出したので、書いてみます。

「頑張っ、頑張っ…頑張っても不合格」それでもいい理由。

高校入試に関して、みんなの状況は次の4つのパターンに分かれます。

- ①頑張っ合格
- ②頑張っ不合格
- ③頑張らないで合格
- ④頑張らないで不合格

の4つです。



④の「頑張らないで不合格」はハッキリ言って、自業自得ですね。

頑張らなければ成績は上がらず、点数がとれることもありません。ましてや、自分の夢・やりたいことの実現なんて、ありえません。「不合格」という結果を受け取っても、「オレ、頑張らんかったからな～。頑張ったら受かったかもしれんからな～」と、自分に対する言い訳もできてしまいます。



次に、①の「頑張っ合格」。

これは理想ですね。努力したことが報われたわけですから、最高の結果といえるでしょう。

ただし、高校合格が最高潮になってしまうのは、怖いですね。

みんなの長い長い人生の中で、高校合格はあくまでも過程であり、通過点です。それなのに、第一志望の高校に合格することで満足してしまい、その先の「本当に実現したい夢」「理想の自分」への努力をやめてしまう…これは危険です。せっかく中学生活で勉強を頑張ってきたのに、それを高校で活かさないのは残念ですし、あこがれの高校に入ったことで満足してしまい、高校生活を「満喫」しすぎてしまうのも心配です。

「合格」を勝ち取ったことで、大いに自信をつけてほしいですが、自信過剰は禁物。高校受験での成功体験が「自信過剰」につながると、大学入試に失敗してしまうケースも起こりえます。

何を目標に高校を選んだのかを、忘れずにいたいですね。

そして、③の「頑張らないで合格」です。

一番危険なのはこのパターンでしょう。才能だけで生きてきたタイプがこれに当てはまります。高校選びの際に、「今の自分の実力で、十分に行ける」という観点で考えてしまった人も、このタイプかもしれません。これは、「受験の時期に努力しなくても、楽々合格がGETできる」ところだったとしたら、頑張らないで合格することも可能ですから。

このタイプは、今まで順風満帆でいけたとしても、それが今後も続くとは限りません。この先で必ず試練が降りかかり、そこで挫折する可能性が考えられます。自分の努力で勝ち取った「合格」ではありませんから、もし高校生活でうまくいかないことと出会ったら、それを自分以外の何かのせいにしてしまうかもしれませんね。

これまた、④のパターンと同じく、「もし頑張ってたらもっとほかのところに行けてたはずやし」という言い訳で、逃げたってしまうこともあるでしょう。どこかで人生の目標を見つけ、がむしゃらに頑張るという経験をしないと大変なことになるそうですね。

最後に、②の「頑張っ不合格」です。

実はこれが一番将来性があるのではないかと思います。

もちろん、高校に合格するに越したことはありません。先生たちも、できることなら全員に「合格」して、夢に近づいてほしいと思っています。

しかし、あくまでこれは高校入試に関してです。別にここで挫折したからといって、長い人生で考えてみると大したことはありません。高校受験で挫折し、第一希望の学校に進学できなかった人の中にも、そののちの努力で自分の夢を実現した人は山ほどいます。

むしろ、この段階で「不合格」の経験をする中で、自分の至らなかった部分と真剣に向き合うことができます。そして、「悔しい!」「次こそは!」「同じ過ちを繰り返したくない」と考えるようになれば、自然と勉強するようになりますから、その3年後の大学受験・就職のときに、「成功」を勝ち取ることができるのです。

高校を卒業するとき、③のパターンで合格した人をはるかに上回る実力と人間性を手に入れているかもしれませんね。

「悔しい」は人を成長させる原動力



ようは、どの高校に入るか、ではなく、どういう過程でそこに行きついたか。

そして、自分が入った高校でどう輝くか。それこそが大切なのです。

努力をした者全員が「成功者」になることはありません。

しかし、「成功者」は必ず努力をした人間です。

結果は大事なことです、そこに至った経過は、それ以上に大切なのです。

受験本番の日まで、まずは「自分に甘えず頑張ること」を徹底しましょう。

頑張ることから逃げた人間が成功することは、ありえませんから。

